項番	帳票名	項目名	内容	行数（繰り返し）	折り返し	型	桁数/行 ※1	文字フォント	和暦・西暦	左寄せ・右寄せ	文字溢れの対応	基本フォントサイズ（ポイント） ※2	指定都市実装区分	一般市区町村実装区分	適合基準日
11	就学援助費保留通知書、就学援助費保留通知書（平仮名表記）	児童生徒名	日本人の場合【本人氏名型（日本人）】、外国人の場合【本人氏名型（外国人）】を記載 本人氏名型（日本人）・本人氏名型（外国人）ともに振り仮名（フリガナ）を出力しない 就学世帯ごとの出力に対応して複数名分表示可能とする ※6名以上は改頁とする	1	無	本人氏名型	30	IPAmj明朝	―	左	○	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
12		保留日	自治体ごとに項目の表示/非表示を選択可能とする	1	無	日付型	17	IPAmj明朝	和暦	左	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
13		保留理由	マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする	1	無	全角	43	IPAmj明朝	―	左	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
14		保留期間	自治体ごとに項目の表示/非表示を選択可能とする 指定都市の実装においては、任意の文言または児童生徒の学校情報を選択可能	1	無	日付型	25	IPAmj明朝	和暦	左	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
15		提出必要書類および手続き	「（必要書類提出対象者の氏名）：（提出必要書類名および手続き）」の形式で記載し、複数名の記載を可能とする 自治体ごとに任意の文言を設定するが、マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする。 ※定型文で対応不可の際は自治体ごとに備考活用や別紙対応を想定する	1	有	全角	42/2	IPAmj明朝	―	左	○	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
16		提出期限	提出期限を記載	1	無	日付型	17	IPAmj明朝	和暦	左	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
17		提出先	提出先窓口名、住所（郵便番号、住所）、電話番号を記載 標準仕様としては提出先を1つとするが、複数の提出先を印字したい場合、複数頁出力での対応も可とする マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする	3	無	全角/半角	43/3	IPAmj明朝	―	左	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
18		備考	自治体ごとに任意の文言を設定する	1	有	全角	45/8	IPAmj明朝	―	左	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
19		教示文	マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする 自治体ごとに項目の表示/非表示を選択可能とする	1	有	全角	50/12	IPAmj明朝	―	左	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日
20		連絡先	機関名・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレスを記載 マスター設定により、自治体ごとに文言は変更可能とする なお、非表示とした印字項目は項目名ごと非表示とする 指定都市の実装においては、個人単位で出力する場合、任意の文言または児童生徒の学校情報を選択可能	5	無	全角/半角	20/5	IPAmj明朝	―	左	―	11	実装必須機能	実装必須機能	令和8年4月1日

※1：単位は文字数。プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近い文字数であれば可とする。
※2：プリンターのハードや帳票印刷プログラムにより合致できない場合を考慮し、本値に近いフォントサイズであれば可とする。

2．構成

項番	帳票名	用紙サイズ	縦・横	最低余白（上） ※3	最低余白（下） ※3	最低余白（左） ※3	最低余白（右） ※3	記載可能人数	以下余白の記載位置	複数枚の跨り	○枚中○枚目表示	処分庁名（通知者名）	公印有無	公用有無	発行単位	同一証明内の発行順位	別様式との同時発行	別様式との同時発行順
1	就学援助費保留通知書、就学援助費保留通知書（平仮名表記）	A4	縦	11	5	13	5	5	―	有	有	有	有	無	就学世帯（学校別）／個人（児童生徒）	規定しない	無	―

※3：単位はミリメートル。最低限確保する余白を示す。最低値の規定がない場合は「－」を記入する。